

支所だより

各総合支所管内での身近な出来事や話題などを毎月お知らせするコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

活力ある農林水産業をめざして

～東予青年漁業者連絡協議会～

東予総合支所から今回ご紹介するのは、漁業の担い手として、いろいろな方面で活躍している東予青年漁業者連絡協議会（会員15名）のみなさんです。

水産業界は、漁業就業者の減少や高齢化、漁業資源の減少、浜値価格の低迷など多くの問題を抱えており、これまでにない厳しい状況が続いています。

そうした中、将来の水産業を担う地域の青年漁業者がひとつとなり、魚群探知機などの高性能機器類の取り入れ、漁場改善のための活動、福祉活動等を目的として、平成9年にこの協議会が設立されました。

卵を抱いたガザミ（ワタリガニ）の再放流など、資源回復を目的とした活動を積極的に取り組み、平成17年度からは、漁場環境にも着目して、魚の産卵場所となる藻場改善

にも取り組んでいます。

また、西条市の初夏を彩る風物詩である「立て干し網」や秋に開催している「魚まつり」への

協力参加など、漁業振興のために日々活躍しています。そのほかに毎年、新鮮な魚を持って老人ホームを慰問したり、更には「豊かな海は豊かな森づくりから」の考えのもと、平成12年から継続して植林による水源の森づくり活動なども行なっています。

安全・安心が求められる今日、新鮮で美味しい地元産の魚を提供するためにこれからも頑張ってください。



「立て干し網」で活躍いただいた協議会の皆さん

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

地域を花でいっぱい

今年も丹原総合支所では、地域のみなさんから届けられたプランターや前庭に植えられたマリーゴールド、サルビアなどのかわいく咲いた花々が訪れる人々を迎えています。これは、合併以前から丹原文化会館などへ、四季を通じて花の植栽を続けている、丹原女性塾のみなさんのほか、徳田小学校緑の少年隊や田滝小学校緑の少年団の子どもたちが大切に育てたプランターや、ボーイスカウト西条12団の子どもたちが植えてくれたものです。また、地域内で日頃何気なく通りかかった道路やバスターミナルなどで美しく咲いたプランターや花壇を見かけることがあります。湯谷口のバス停留所には、地元湯谷口地区「花と緑の会」の皆さんの丹精こめたお世話によりきれいな花を咲かせています。県道寺尾重信線沿いの花壇には、地域活性化に取り組

んでいる桜遊会のメンバーによる県道の美化活動で道行く人や地域のみなさんの目を楽しませています。身近な施設や通りかかった道端に咲いた花を見て、心癒やされることがあります。それぞれの地域の方々の身近なお世話によるものです。先日、庁舎のプランターの入れ替えに訪れた田滝小学校の子どもたちは、「僕たちは、丹原がきれいな花でいっぱいになったらいいなと思って頑張っています」と元気に話してくれました。

総合支所前のプランター



▲ 花壇への移植風景



小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

地域の食を支える女性力

食育や地産地消が注目される昨今、地域の農産物を使い特産品作りに励む生活研究グループが小松町でも活動しています。特産品作り以外にも、食文化の伝承や地域農産物の利活用促進など元気に活動するグループをご紹介します。

かれんグループは、自分たちが育てたこんにやくいもと、そばから作った灰汁を使って、自家製の「こだわりのこんにやく」を作っています。産業関係のイベント時に販売しており、今年の産業文化フェスティバルでも完売しました。

小松椿会は、旬の野菜で「きゅうりのからし漬け」「おあしす漬け」などの漬物を作り、石鎚山ハイウェイオアシス館のおあしす市場に出品し好評を得ています。また中学校などで大豆を使った豆腐作り教室なども行っています。

さつき会は黒茶を作っています。黒茶は茶葉を加熱後2

回発酵させる、全国でもめずらしい後発酵茶です。「まぼろしの天狗黒茶」の名称で、おあしす市場、周ちゃん広場や東予園芸の直販所で販売されており、県内外から定期的に購入する人もいます。

また、この3つのグループは、西条市生活研究協議会小松支部としても活動しており、今年3月には保育所の子どもや保護者とさくらもちを作り、地域農産物を活用した郷土料理を伝承するなど、地域の食を支える活動を行っています。



かれんグループ



小松椿会



さつき会

産業文化フェスへの出店 豆腐作りを生徒に教える まぼろしの天狗黒茶を作る